



応募論文から

論文賞

夢の実現に関して考えること

岡山龍谷高等学校3年 藤原 瞳(SI 笠岡 推薦)

私には、将来キャビンアテンダント（CA）になるという夢がある。

私は飛行機に乗ることが好きだ。飛行機に乗ればどこへでも行け、自分の見たことのない場所、経験したことがない事、そして何より多くの人に出会える。私はCAとして、多くの夢の詰まった飛行機の中で働きたいと考えるようになった。そのためには、様々なお客様の要望に応えられるように、語学力や豊かな人間性が必要であると知り、私は夢の実現に向け、高校生活で以下のことに取り組んだ。

1つは海外留学である。私は1年生の時に、約1年間のオーストラリア留学を経験した。毎日が発見の連続で貴重な経験だった。様々な国籍の方がおり、日本人とは違った型にとられないものの考え方などを学ぶことができた。また現地の方々は私を優しく迎え入れてくれ、人の温かさにも触れ、より一層多くの人とつながりたいとも考えるようになった。

2つ目は、留学からの帰国後に出場した、ND 清心女子大学主催の英語スピーチコンテストである。自分の語学力がどれだけ向上したのか不安であったが、準優勝を頂き、自分の英語力が向上していることを実感でき、少しずつ将来の夢に近づいているという大きな自信にもつながった。

3つ目は、全国高校生模擬国連大会への出場である。大会では食糧問題という解決が難しい問題を、全国の高校生と意見交換しながら解決案を探った。いかに自分の考えに共感してもらえるか、周りの意見を聞きまとめることの難しさを知った。

以上のように私は少しずつ成長できた。多くの人とつながり、様々な学びを得ることが出来た。それも、チャレンジする姿勢を持っていたからこそだと思う。これからもその姿勢を大切にしたい。そして相手のことを理解し、自分から行動し、誰かのために働ける人間になりたい。今回の大会では、自分の考えを伝えるとともに、参加者の方をより深く理解する姿勢を大切にしながら、多くのつながりを作っていきたい。